

**ACTION**

**アクションポーズ**

※写真はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。



**DETAIL**

**各部ディテール**



# RX-93 GUNDAM

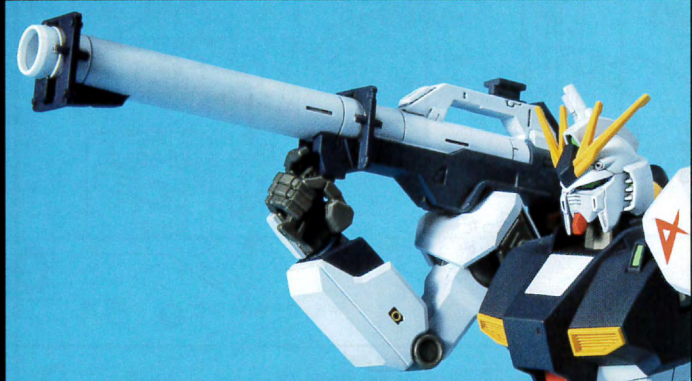
**E.F.S.F. (LOND BELL UNIT) AMURO RAY'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT FOR NEWTYPE**

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RX-93  
 HEIGHT : 22.0m  
 WEIGHT : 27.9t  
 TOTAL WEIGHT : 63.0t  
 GENERATOR OUTPUT : 2980kw  
 MATERIAL : GUNDALIUM ALLOY  
 SPECIAL EQUIPMENT : FIN FUNNEL  
 ARMAMENTS :  
 HEAD VULCAN GUN  
 BEAM RIFLE  
 BEAM SABER  
 NEW HYPER BAZOOKA  
 SHIELD

**NEW HYPER BAZOOKA**

ニュー・ハイパー・バズーカ



**REAR VIEW**

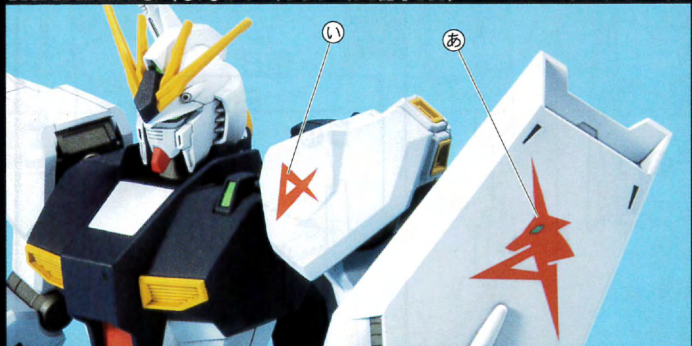
リアビュー



**MARKING**

(㊦、㊧はマーキングシールの記号です。)

マーキングシール



**COLOR GUIDE**

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●本体等： ホワイト(90%) +ニュートラルグレー(10%)	●胸部等： ミッドナイトブルー(60%) +コバルトブルー(30%) +ブルー(10%)	●コクピットハッチ等： モンザレッド(100%)	●本体ダクト、スラスター等： イエロー(70%) +オレンジイエロー(30%)	●センサー類： 蛍光グリーン(100%)
---------------------------------------	---	-----------------------------	---	-------------------------

**1/144 SCALE**  
**HG**  
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2008 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0153143





# RX-93 V GUNDAM

RX-93 V(ニュー)ガンダムは、シャアが総帥として再興したネオ・ジオンに対抗すべく再編された連邦軍ロンド・ベル隊の旗艦といえるMSであり、一年戦争でRX-78 ガンダムを駆り勇名を馳せたアムロ・レイが自ら設計した機体である。基礎設計は歴代の“ガンダムタイプ”を参考とし、その平均値に技術発展によるアップデートが施されている。また、画期的な新素材である“サイコ・フレーム”と攻防一体のオールレンジ兵器“フィン・ファンネル”を装備するガンダムタイプ初のフルスペックNT(ニュータイプ)専用機でもある。この機体は、AE(アナハイム・エレクトロニクス)のフォン・ブラウン工場で建造され、実質3ヶ月という短時間で当時最強の機体として完成した。これは、ムーバブル・フレームの工業製品およびテクノロジーとしての成熟と、AEや連邦軍のエンジニアの不眠不休の努力の賜物であり、また、アムロ自身によるMSへの深い造詣による産物であると言える。Vガンダムは、NT能力を持つエンジニアが自ら開発した初めての機体でもあるのである。さらに、Vガンダムがロールアウトするまでの期間、アムロはZ系の重産を指標とするバリエーション機のリ・ガズィに搭乗していたが、その経験も設計に援用されている。Z系の機体の基礎設計は、コピーが容易で堅牢な構造を持つが、その反面、操作は非常にデリケートで、先鋭的な挙動を示す傾向にあるという。その意味でVガンダムはとてもベーシックな機体であり、連邦系MSの原点に立ち返ったMSであるとも言える。グリプス戦役以降のMSは、異業種の参入や新技術の爆発的な進化に伴って、異なるコンセプトの融合が過剰に計られる傾向があり、スペックは向上したものの、バランスを欠いた機体が多く輩出していた。Vガンダムは、その傾向に一石を投じる機体でもあったのだ。



## ニュー・ハイパー・バズーカ

連邦軍の標準的なMS用兵装の同等品をVガンダムに合わせて仕様変更したものの、射程や弾頭の破壊力なども改善されている。口径は280mm。

## ビーム・ライフル

ビームを圧縮して間欠的に射出することができ、マシンガン的な使用も可能。最大出力では同時期の戦艦クラスの主力に匹敵する威力を持つ。

## SPEC

- 型式番号: RX-93
- 頭頂高: 22.0m
- 本体重量: 27.9t
- 全備重量: 63.0t
- ジェネレーター出力: 2980kw
- 装甲材質: ガンダリウム合金
- 特殊装備: フィン・ファンネル
- 武装: 頭部バレル砲
- ビーム・ライフル
- ビーム・サーベル
- ニュー・ハイパー・バズーカ
- シールド(ビーム・キャノン、ミサイル)



## ビーム・サーベル

増幅装置やエミッターに独自の設計が施され、ビームの形状や形成にパイアスやアレンジを掛けることができる特別仕様のビーム・サーベル。

## 予備ビーム・サーベル/サーベルラック

左腕に装備する予備のビーム・サーベルは標準的な規格品である。



## フィン・ファンネル

ガンダムタイプ初のオールレンジ兵器であり、MSが単体で携行できる武装としても屈指の威力を持つ。開放型のメガ粒子加速帯と小型のジェネレーターを内蔵し、3基以上のファンネルを配置することによってビーム・バリアの展開が可能。最低4基のファンネルを配置すれば、機体周辺の全方向からの攻撃を防御することも可能となる。

## シールド

(ビーム・キャノン、ミサイル)  
ビーム・キャノン用のジェネレーターを内蔵し、4基のミサイルを装備する防御装備。ビーム・キャノンの出力は一年戦争時のビーム・ライフルに匹敵する。



# RX-93 Vガンダム

RX-93 V(ニュー)ガンダムは、劇場用作品「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」に登場したニュータイプ専用MSである。U.C.0093年3月12日、ネオ・ジオンの艦隊は投降を偽装してルナツーを襲い、ほぼ同時にアクシズを奪取した。シャアの艦隊はアクシズの核パルスエンジンを復旧させ、アクシズを地球へと降下させる。一方、ロンド・ベルの部隊はアクシズの核パルスを破壊すべく猛攻を掛ける。そして、戦局は最終局面に移りし、ケスはα・アジールで出撃する。「敵意が無邪気すぎる…シャアじゃない。あの男でもない」アムロは新たな脅威を察知する。「何? 壁になる奴がいる」ケスもまたVガンダムの強大さを感じていた。「ケス!! そいつはVガンダムだ。手強いぞ」ギユネイの警告にケスは耳を貸さない。「何が!!」α・アジールのファンネルがVガンダムを襲う。それを撃ち落としながらアムロは呻(うめ)く。「子供に付き合っているかっ!!」「なんでさっ!!」ケスは追いつけるが、ロンド・ベルのジェガン部隊が割って入る。「邪魔すんじやないっ!!」α・アジールの5連ビーム砲はジェガンを次々と壁としていく。Vガンダムとα・アジール、ヤクト・ドーガは、アクシズへと向かいながら、一進一退の攻防を続けていた。「ケスならやめろ!!」「そんなに大佐を困らせなくてよ!!」ギユネイはケスを援護しようとするが、Vガンダムを攻めあぐねていた。「ファンネルが保たないから…ケス、無茶だ!!」α・アジールのオールレンジ攻撃をかわしたVガンダムをヤクト・ドーガのビームが襲う。と、そこにVガンダムの姿はすでになく、シールドとバズーカが漂っていた。ギユネイはあわてて周囲を見回す。「なに!?!…あっ!!」次の瞬間、ヤクト・ドーガは四散していた。「ギユネイをやったの!?!」ケスは愕然とする。アムロはシールドとバズーカを回収し、肅々(しゅくしゅく)とアクシズを目指す。

●写真はイメージです。



「逆襲のシャア」、あの激しい戦闘がよみがえる…

HGUC SERIES LINEUP

HGUCシリーズのラインナップをチェックせよ!!

機動戦士ガンダム  
**GUNDAM**  
逆襲のシャア

MSH-02  
ヤクト・ドーガ

ヤクト・ドーガは、ネオ・ジオンが開発したNT(ニュータイプ)専用重MSである。

No.083  
「ヤクト・ドーガ(ギユネイ・ガス専用機)」HG

No.086  
「Vガンダム」

Vガンダムは、シャア・アズナブルが総帥として再興したネオ・ジオンに対抗すべく、一年戦争で勇名を馳せたアムロ・レイが自ら設計した機体である。

No.084  
「ヤクト・ドーガ(ケス・エア専用機)」HG

試作された2機の内1機はケス・エアに与えられた。ギユネイ機とは頭部の形状とカラーリングが異なる。

RGZ-91 Re-GZ

No.085  
「リ・ガズィ」HG

リ・ガズィは、MSZ-006 ZガンダムのMS形態時の構造のコピーを設計コンセプトとして製作された攻撃型MSである。

※この商品には、Vガンダムが1セット入っています。



### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

### 注意 (ちゅうい)

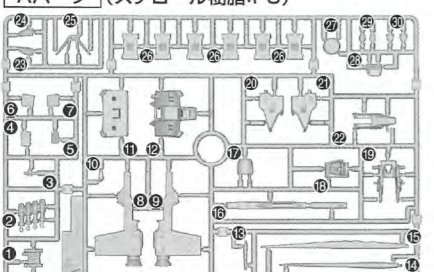
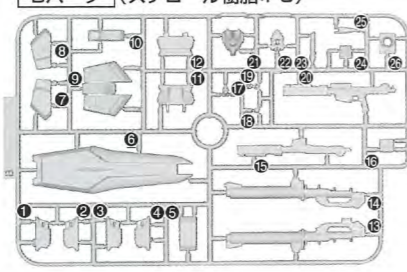
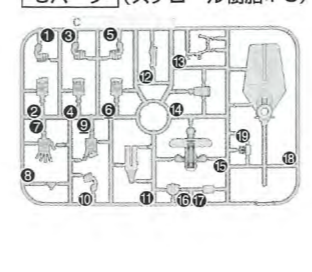
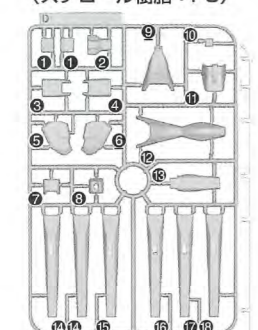
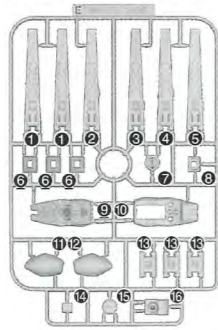
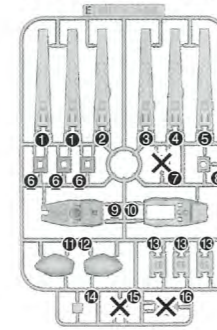

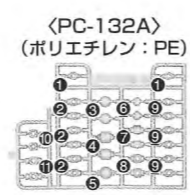
●緑部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

### 《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。  
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

 ・線沿いを切ります	 ・シールの番号	 ・デカールの番号	 ・反対側に取り付けるパーツ	 ・両側に取り付けるパーツ	 ・向きに注意して取り付ける	 ・ヒスの寝やすさには注意
 ・切り取る	 ・部品を数値の個数作ります	 ・先に組み立てます	 ・後に組み立てます	 ・数値に合わせて回転させます	 ・どちらかを選んで取り付ける	 ・反対側も同じように動かします


### パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

<b>Aパーツ</b> (スチロール樹脂:PS) 	<b>Bパーツ</b> (スチロール樹脂:PS) 	<b>Cパーツ</b> (スチロール樹脂:PS) 		
<b>Dパーツ</b> (x2) (スチロール樹脂:PS) 	<b>Eパーツ</b> (スチロール樹脂:PS) 	<b>Eパーツ</b> (スチロール樹脂:PS) 	<b>Fパーツ</b> (x2) (スチロール樹脂:PS) 	<b>PC-132A</b> (ポリエチレン:PE) 

●シール……………1  
●マーキングシール…1

#### 1

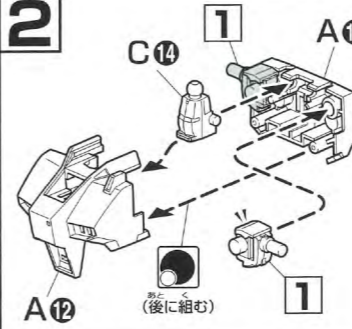
×2  
2個作る



E14  
PC11  
F5

(向きに注意)

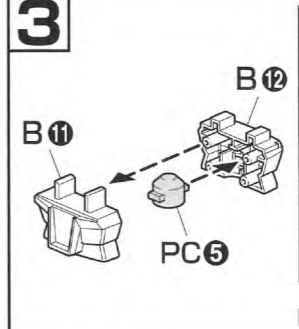
#### 2



A12  
A11  
C14  
1  
1

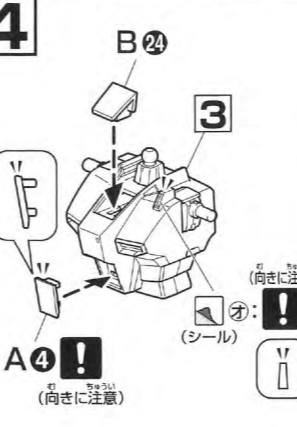
(後に組む)

#### 3



B12  
B11  
PC6

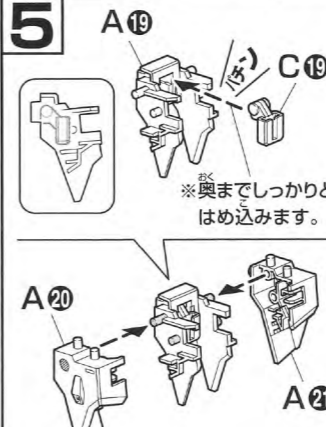
#### 4



B24  
A4  
3

(向きに注意)

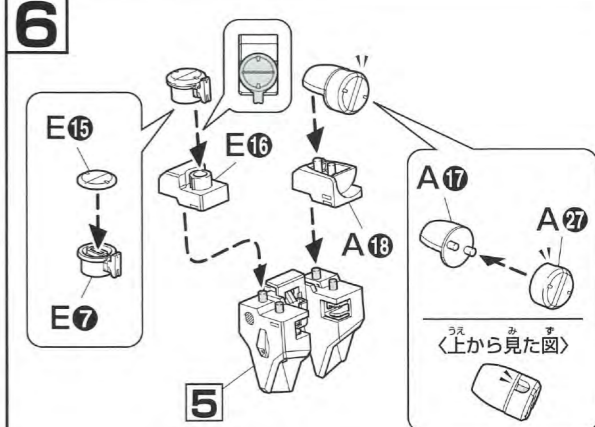
#### 5



A19  
A20  
C19

※奥までしっかりと、はめ込みます。

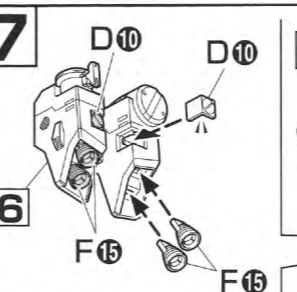
#### 6



E16  
E7  
A17  
A27

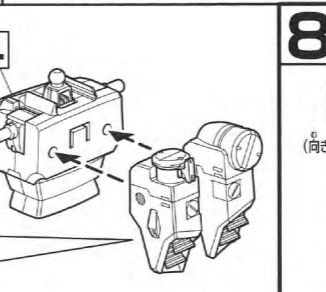
↑  
「上から見た図」

#### 7



D10  
D10  
F15

#### 8



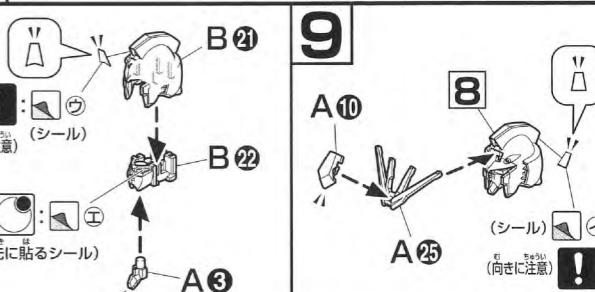
B21  
B22  
A3

(向きに注意)

(シール)

(先に貼るシール)

#### 9

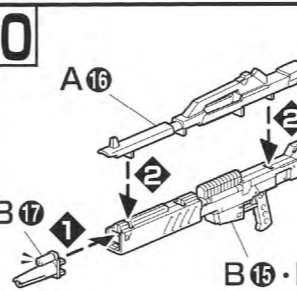


A10  
A25  
8

(シール)

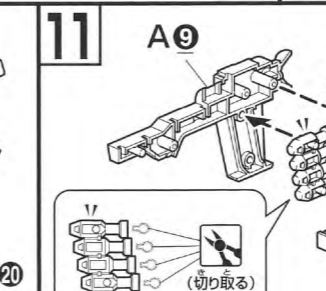
(向きに注意)

#### 10



A16  
B17  
B15・B20

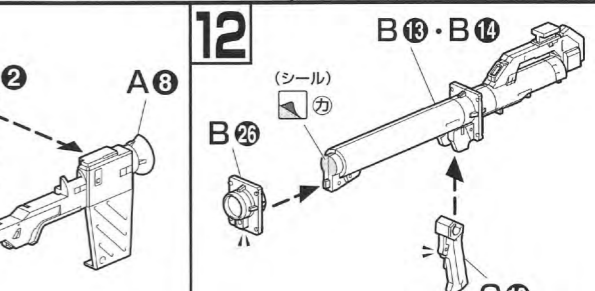
#### 11



A9  
A2  
A8

(切り取る)

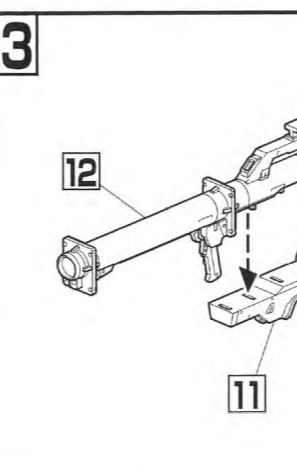
#### 12



B13・B14  
B26  
C12

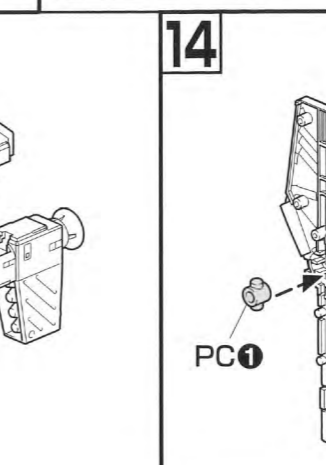
(シール)

#### 13



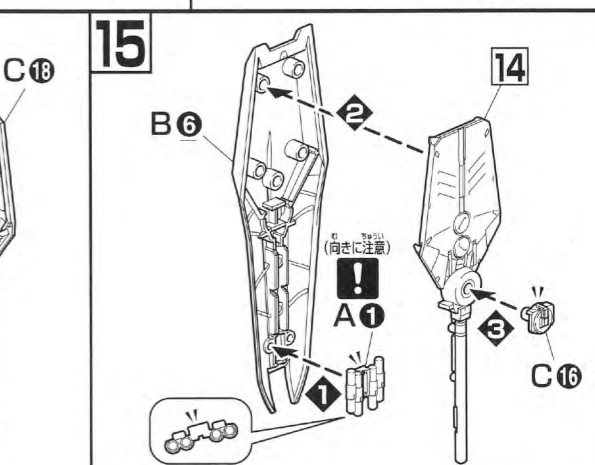
12  
11

#### 14



C10  
PC1

#### 15



B6  
14  
A1  
C16

(向きに注意)



**16**  
×2  
2個作る  
PC7  
F2 F3

**19**  
×2  
2個作る  
! : 17  
(向きに注意)

**20**  
PC9  
B3  
B4  
PC6

**21**  
19  
20

**22**  
PC9  
B2  
B1  
PC6

**17**  
×2  
2個作る  
PC10  
※ミソに合わせてはめ込みます。

**18**  
×2  
2個作る  
! : 18  
(向きに注意)

**23**  
B5  
E8  
※穴の小さい方

**24**  
D1  
C3  
C4

**23**  
C8  
C11  
A22  
B18

**18**  
×2  
2個作る  
F1  
F10  
F18  
(向きに注意)

**17**  
×2  
2個作る  
! : 17  
(向きに注意)

**20**  
B6  
E8  
※穴の小さい方

**21**  
D1  
C3  
C4

**23**  
C8  
C11  
A22  
B18

**24**  
23  
22  
A28  
E8  
(向きに注意)

**26**  
19  
24  
25

**27**  
×2  
2個作る  
A29  
A30  
D6  
F6  
※きれいに切り取ります。(向きに注意)

**28**  
9  
27  
27  
7  
21  
26  
で作った頭部  
で作ったショルダー  
で作ったショルダー  
で作ったボディ  
で作った右腕  
で作った左腕

**25**  
D1  
C5  
C6  
C7  
D1  
(選んで取り付ける)

**27**  
×2  
2個作る  
A29  
A30  
D6  
F6  
※きれいに切り取ります。(向きに注意)

**28**  
10  
13  
10  
13  
で作ったライフル  
で作ったバズーカ  
※手首は外しておきます。

**28**  
10  
13  
10  
13  
で作ったライフル  
で作ったバズーカ  
※手首は外しておきます。

**29**  
×2  
2個作る  
F20  
PC4  
PC2  
F21

**31**  
×2  
2個作る  
D11  
29  
(シール)

**32**  
×2  
2個作る  
PC2  
F19  
PC9  
F11

**33**  
×2  
2個作る  
PC8  
F4

**30**  
×2  
2個作る  
E10  
E9  
※きれいに切り取ります。

**31**  
×2  
2個作る  
D11  
29  
(シール)

**32**  
×2  
2個作る  
PC2  
F19  
PC9  
F11

**33**  
×2  
2個作る  
PC8  
F4

**34**  
×2  
2個作る  
PC3  
F17  
F16  
PC2

**35**  
※33の向きに注意して組み立ててください。  
D12  
33 : !  
(向きに注意)

**36**  
×2  
2個作る  
E11  
32  
35  
D7  
D13

**37**  
※PCが見えている方  
D4  
D3  
34  
36 : !  
(向きに注意)  
F8・F9  
31

**38**  
※PCが見えている方  
D3  
D4  
34

**39**  
C15  
PC9  
A6  
A7  
B9  
PC9  
PC1  
(後に組む)

**42**  
28  
41

**38**  
F8・F9  
36 : !  
(向きに注意)  
31

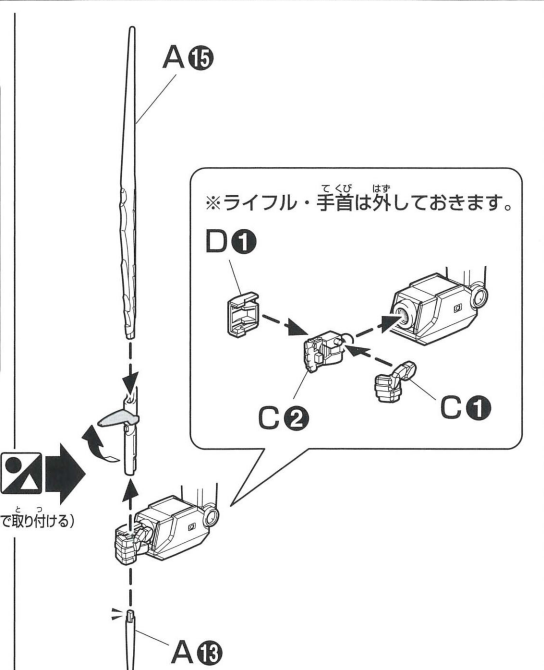
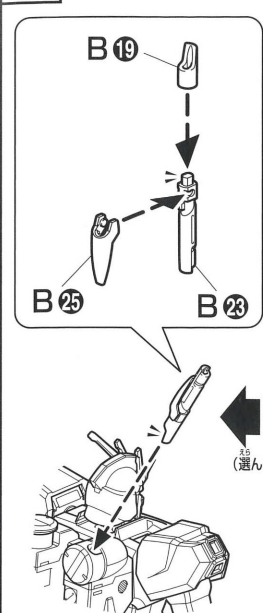
**40**  
B7  
B10  
B8  
A6  
C17  
39

**41**  
D2  
40  
38  
37  
で作った腰部  
で作った左脚  
で作った右脚

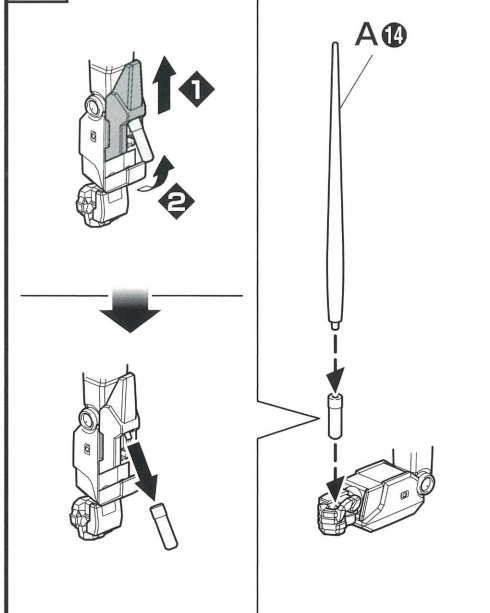
※バンダイプラモデル  
アクションベース2 (別売り)  
差し込み用 (丸型) BA4-A9



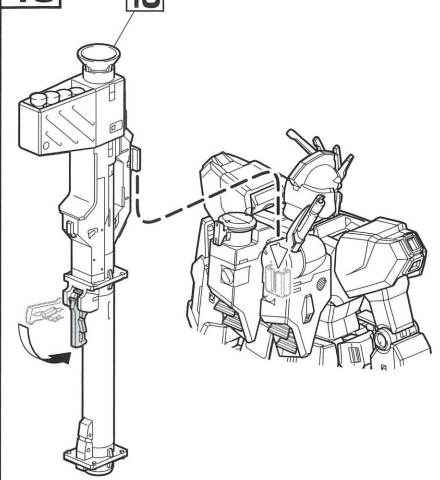
43



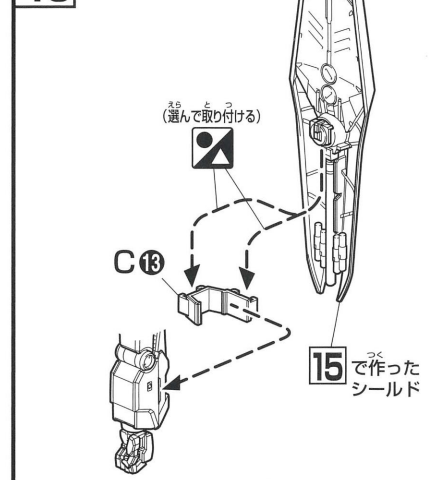
44



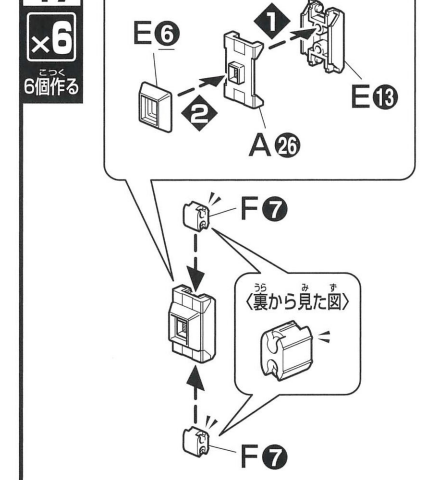
45



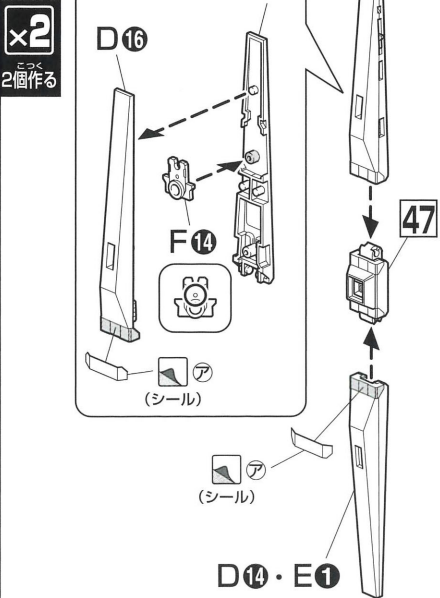
46



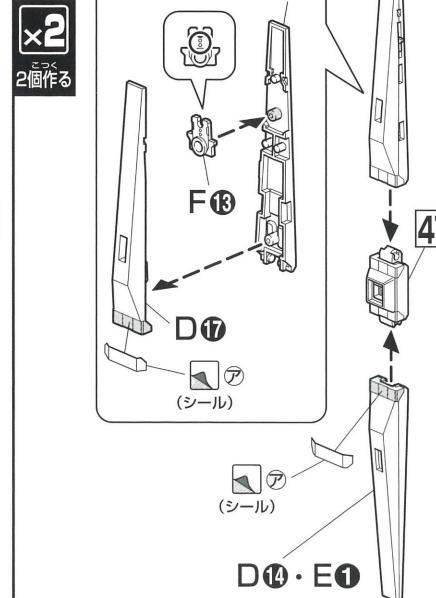
47



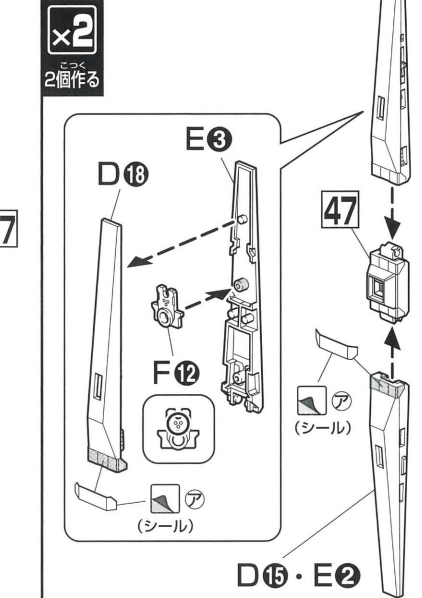
48



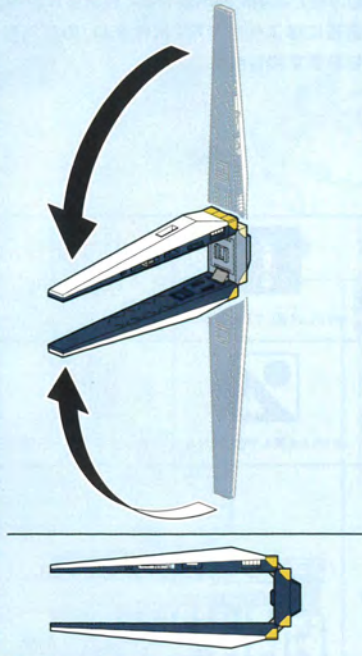
49



50

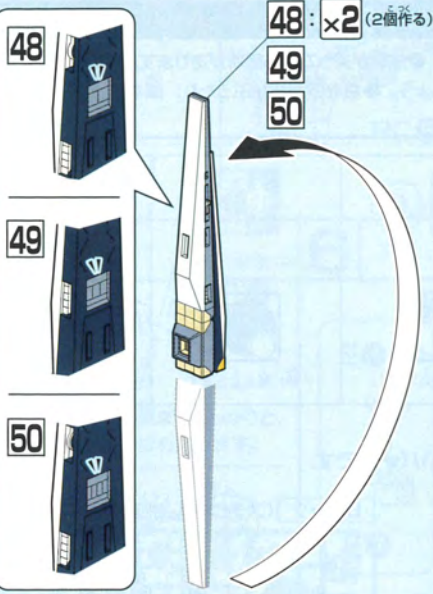


# ファンネルの変形

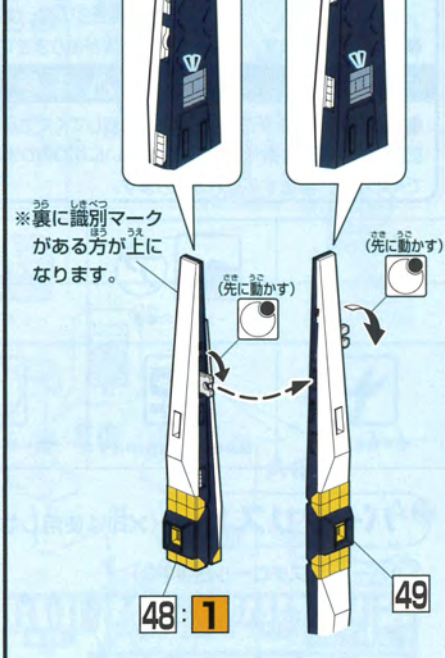


# 1 ファンネルの装備

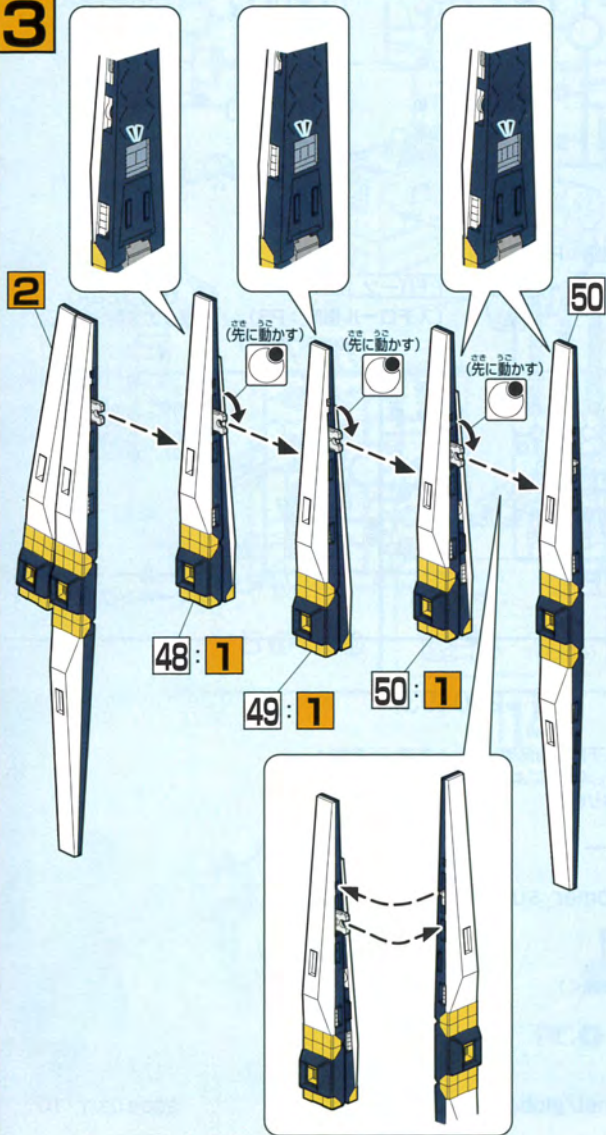
※識別マークが見えるように、先に2、3の連結をしてから折りたたむこともできます。



# 2



# 3



# 4

